

# 豊川流域の水源 (貯水量・降雨状況)等



# 1 平成17年の渇水の状況

平成17年の4月から6月にかけて、豊川水系では降水量が平年の3～4割と少なく、宇連ダムの貯水量は7.7%にまで低下し、過去最大の渇水となった平成6年を上回るペースで渇水が深刻化しました。

## 豊川水系ダム枯渇の危機(宇連ダム)

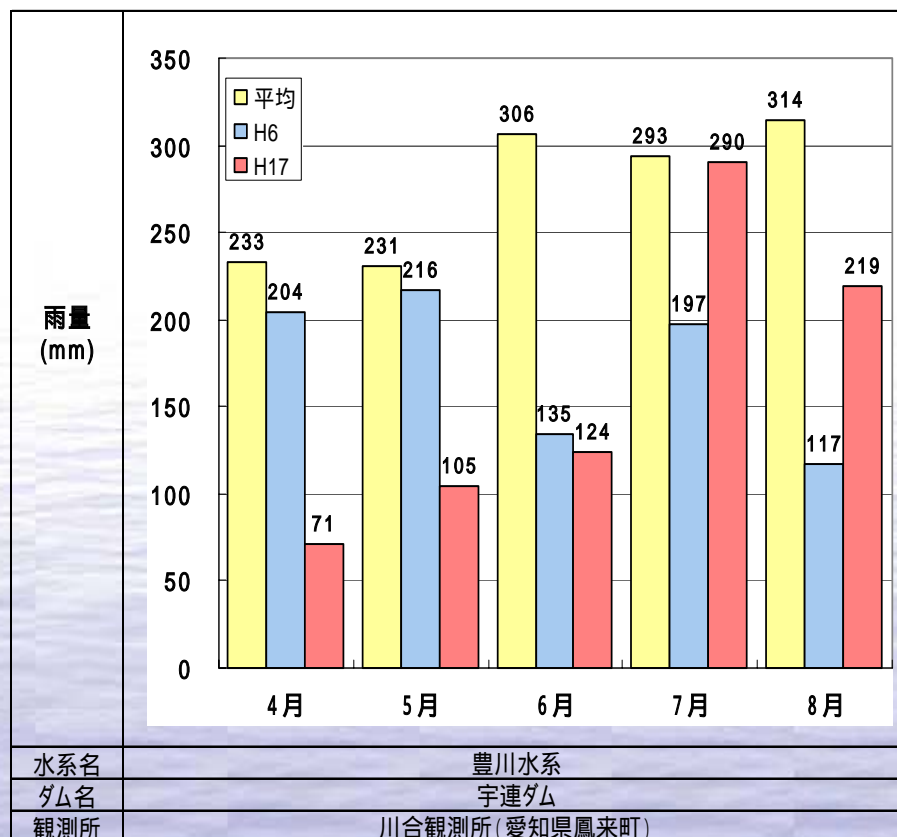
渇水時 (H17.6.30)

貯水率 7.7%



## 平成6年の渇水を下回る降雨量(4月～6月)

### 4月～8月の降雨量の比較(平年値、H6年、H17年)



雨量データは速報値

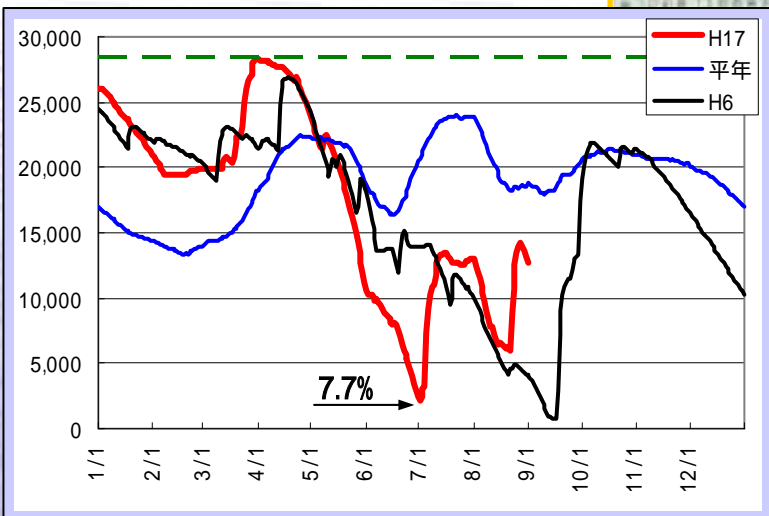
# 2 渇水による影響(1)

## 宇連ダムの貯水状況

宇連ダムの貯水量は、少雨の影響により、過去最大となった平成6年を上回るペースで急激に減少し、6月末には宇連ダムの貯水量は7.7%（平年の11%）にまで低下しました。

7月上旬の降雨により貯水量が47%まで回復しましたが、この値は平成6年と同水準で平年の57%程度です。

(千m3) 宇連ダム貯水量の比較図



東愛知新聞 (H17.7.2)

## 利水への影響

節水率 5%(上), 5%(工), 5%(農) で始まった節水対策は6月末には20%(上), 30%(工), 30%(農) にまで強化され、更なる節水への協力を懸垂幕や立て看板を掲げて市民に呼び掛けました。

公園などの噴水の中止、給水バルブの調整（水圧低下の措置）などの対策がとられました。

東愛知新聞 (H17.8.18)

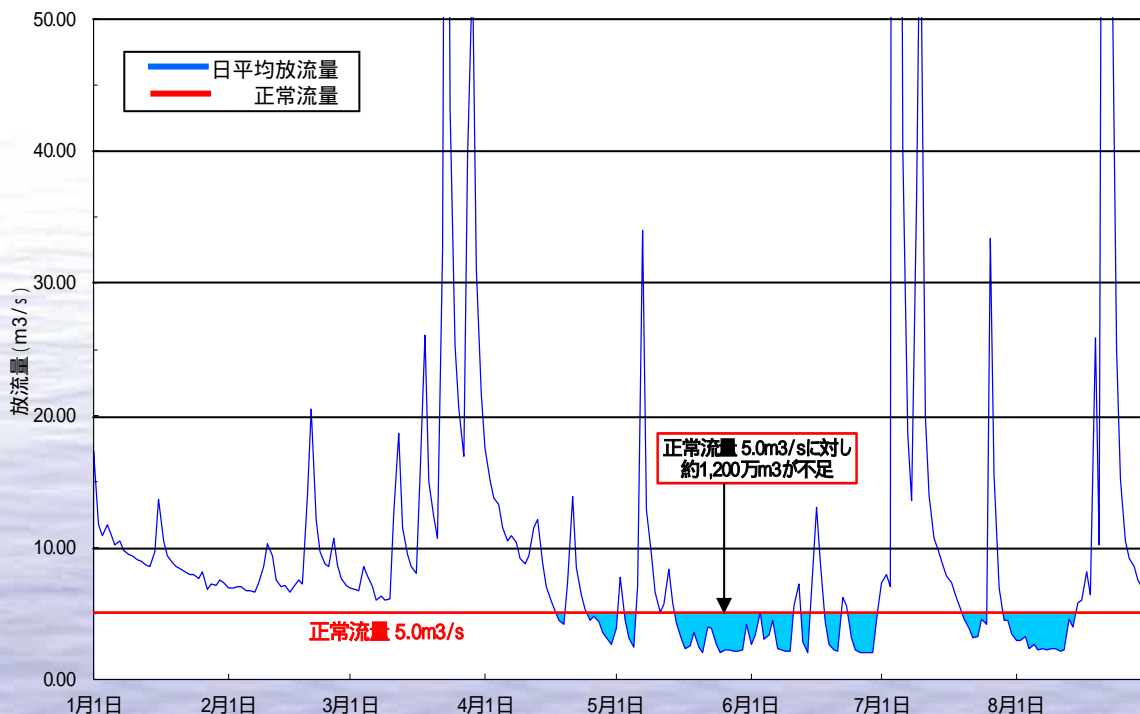


東日新聞 (H17.7.1)

# 2 渇水による影響(2)

牟呂松原頭首工下流地点では、最小流量は2.0m<sup>3</sup>/sを記録し、4月から8月までの流況は、正常流量5.0m<sup>3</sup>/sに対して、約1,200万m<sup>3</sup>が不足する結果となった。

H17年 牟呂松原頭首工 放流量【日平均値】



渇水時(牟呂松原頭首工下流部)

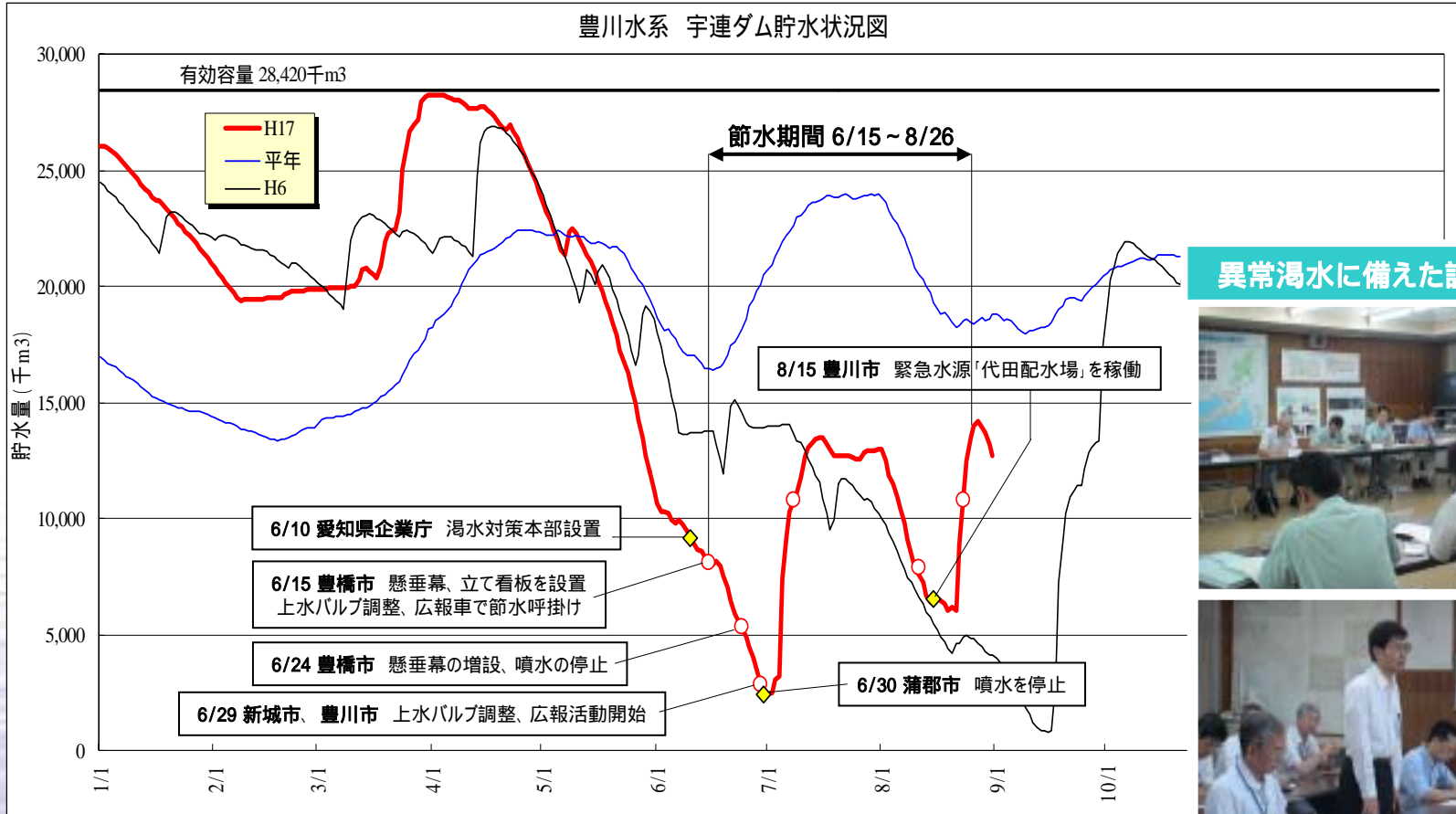


平常時(牟呂松原頭首工下流部)



# 3

## 渇水対策等の状況



### 異常渇水に備えた調整会議



### 豊川用水節水対策協議会

豊川用水を管理する水資源機構をはじめとする各関係機関と調整を経て、節水対策が執られました。

期	間	日数	上水	工水	農水	貯水量	貯水率	平年比	
H17.6.15	~	H17.6.23	(9日)	5%	5%	5%	8,058千m <sup>3</sup>	28.4%	48.9%
H17.6.24	~	H17.6.28	(5日)	10%	10%	10%	5,307千m <sup>3</sup>	18.7%	29.2%
H17.6.29	~	H17.7.7	(9日)	20%	30%	30%	2,839千m <sup>3</sup>	10.0%	14.1%
H17.7.8	~	H17.8.10	(34日)	10%	10%	10%	10,812千m <sup>3</sup>	38.0%	47.8%
H17.8.11	~	H17.8.22	(12日)	20%	20%	20%	7,858千m <sup>3</sup>	27.6%	38.3%
H17.8.23	~	H17.8.26	(3日)	10%	10%	10%	10,747千m <sup>3</sup>	37.8%	58.1%
計		(72日)							

# 4

## ダム等からの補給状況

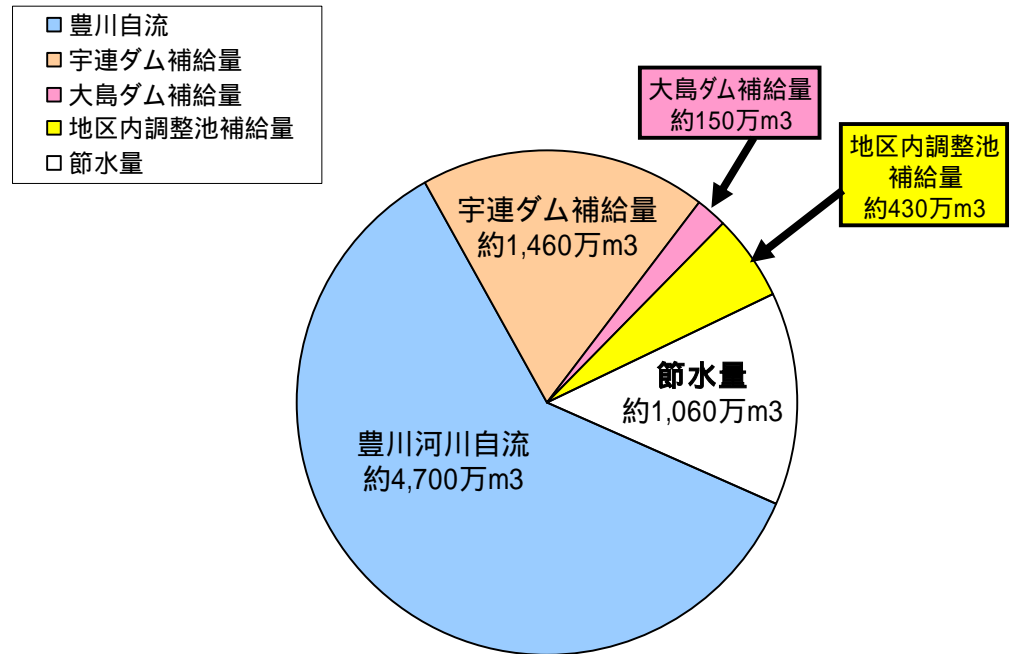
6月15日（節水対策開始）から8月26日（節水対策解除）までのダム等からの補給量を整理してみました。

宇連ダムの補給量は、全ダム補給総量（約2,040万m<sup>3</sup>）の約7割（約1,460万m<sup>3</sup>）を補給しています。

大島ダムや地区内調整池（補助ため池を含む）の補給量は全ダム補給総量の約3割（約580万m<sup>3</sup>）を補給しています。

また、節水量の約1,060万m<sup>3</sup>は、名古屋ドーム約6杯分、宇連ダム満水量の約4割に相当する量で、上水に換算すると約70日分に相当します。

豊川水系のダム補給量(上水、工水、農水) 平成17年6月15日～8月26日



本表の数値は速報値であり、今後修正されることがある。